

(10) 文字こそは“目で見える言葉”

人類発展の大きな原動力

(9)では“言葉”の持つ偉大な力について語りましたが、ここでは“文字”の持つ偉大な力についてお話したいと思います。

人類がこの地球上に現われてから、何十万年になるかわかりませんが、恐らく人間はその初めから“言葉”を持っていたと思います。その言葉によって、人間は自分の一生の間に獲得した知恵を次の世代に伝えることが出来、そのため知恵が蓄積されて高い文明を築くことが出来たのです。

チンパンジーなどは幼児期にはむしろ人間の幼児よりも賢いくらいの動物ですが、言葉を持たないために知恵を伝えることが出来ないで、その生活に少しも進歩というものがありません。現在のチンパンジーの生活は恐らく百万年前の生活と同じ程度であるに違いありません。

それほど“言葉”はすばらしいものですが、発するや否や消えてしまうという欠点があります。そのため正しく受け取ることが困難であり、その上、言葉の伝えられる範囲は極めて近いところに限られています。

その“言葉”をそのままに蓄えることが出来て、いつ、どこで、だれでも受け取ることが出来たらどんなにすばらしいことでしょう。人類は言葉を使いながら、常にそうありたいと願っていたに違いありません。

そうして遂にその念願を果たしました。それが、“文字”だったのです。

“言葉”が耳で聞くものであるのに対して、“文字”は「目で見える言葉」です。耳で聞く言葉は、心にわずかなすきが生じただけでも、正しく受け取ることを妨げます。その上わずかな一部分を受け取りそこなただけでも、全体の理解を不可能にし、また誤解を生ずる恐れがあります。しかも見せられるや否や消えてしまうので、あとからこれを確認することが出来ません。

ところが、「目で見える言葉」の文字は、正しく理解できるまで何回でもくり返して読むことが出来ます。つまり、理解できるまで消えないで待っていてくれる、という利点があります。その上、文字で書かれたものは、いつ、どこで、だれでも読むことが出来る、という利点があるのです。

人類が今日の文明を築き得たのは確かに“言葉”のお蔭ですが、しかし“言葉だけの時代”の進歩はまことに遅々としたものでした。それに比べると、“文字”を使うようになってから、人類の発展は実に目覚ましいものがあります。それは、“文字”の力が“言葉”の力よりもずっと偉大であることの良い証拠だと思えます。

それは次の点にもよく現われています。世界にはたくさんの国がありますが、文字を理解する国民の多い国ほど文化が高く、その反対の国ほど文化が低い、ということです。これらの理由は一体どこにあるのでしょうか。皆さんも考えてみていただきたいと思えます。